

新人看護師研修 到達目標の現状

平成21年5月28日

話の内容

- 到達目標とは？
- 到達目標の表し方
- 到達目標の評価の方法

新人看護職員研修到達目標における 3つの枠組み

1. 看護職員として必要な基本姿勢と態度についての到達目標
2. 看護技術についての到達目標
3. 看護実践における管理的側面についての到達目標

到達目標の示し方: 輸液ポンプの準備と管理

A病院

B病院

C病院

輸液ポンプの準備と
管理ができる

輸液ポンプの準備と介助

輸液ポンプの準備と介助

1. 正しい輸液ポンプの使用方法が実践できる
2. 正しいシリンジポンプの使用方法が実践できる
3. ポンプアラームについて患者に説明し協力を得ることができる
4. 輸液の種類、方法などに沿ったポンプを選ぶことができる
5. アラーム時の対応ができる

1. 機器原理がわかる
2. 輸液セット(小児・成人用)のセッティングがわかる
3. どのようなときに使用するかわかる
4. ドリップセンサーの取り扱いができる
5. 流量変更ができる
6. アラーム時の対応ができる
アラーム音の停止の仕方
気泡混入
液切れ
閉塞
電圧低下
ポンプからセットをはずす場合
やオープンの際の注意事項がわかる
クランプできる
- 三方活栓のロックがわかる
- トラブル対処後の再開の仕方がわかる
7. 点滴交換時の注意点がわかる
8. 早送り操作方法がわかる

到達目標の示し方： インシュリン製剤の種類・用法・副作用の観察

A病院	B病院	C病院
インシュリン製剤の種類用法を知って副作用の観察ができる	インシュリン製剤の種類用法・副作用の観察	インシュリン製剤の種類用法・副作用の観察
	<ol style="list-style-type: none"> 1. スタッフもしくは患者とダブルチェックでインスリンを準備できる 2. インスリンを医師の指示に従い実施できる 3. 施行するインスリンの作用発現と作用時間を把握し実施できる 4. 低血糖症状が言える 5. 低血糖症状について患者・家族に説明し対処できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 目的を理解し説明ができる 患者に説明性を説明できる 2. 確認できる <ul style="list-style-type: none"> ・ダブルチェックができる ・カルテで指示内容と薬物の確認ができる ・スライディングスケールが理解できる ・インスリンの種類・単位・時間・注射部位が確認できる 3. 準備ができる (バイアル使用の場合) (フレックスペン使用の場合) 4. 実施ができる <ul style="list-style-type: none"> ・人・薬剤・与薬方法・与薬時間・薬剤量をセルフチェックすることができる 5. 患者確認ができる <ul style="list-style-type: none"> ・本人であることを確認する ・リストバンドで確認する ・名前を言ってもらい名前を呼ぶ ・穿刺部位を選択できる 6. 記録ができる ・必要事項をカルテに記入できる

到達目標の示し方：食事介助

A病院	B病院	C病院
食事援助技術が身に付く	食事介助	食事介助ができる
<p>患者の状況に合わせた食事の準備ができる</p> <p>臥床患者の食事介助ができる</p> <p>嚥下障害のある食事介助ができる</p> <p>食事摂取量 水分摂取量の把握できる</p> <p>経管栄養の管理ができる</p> <p>約束手帳の食糧について理解できる</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 食事介助に必要な物品が準備できる 2 臥床患者の食事介助ができる 3 上肢に障害のある患者の食事介助ができる 4 視力障害のある患者の食事介助ができる 5 嚥下障害のある患者の食事介助ができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1 準備ができる 患者の準備ができる(排泄の確認) 2 環境の整備 (おしぼり・エプロン・箸などの準備) 3 実施できる 患者の名前を確認し配膳でき 4 体位を整えることができる 誤嚥しないように配慮できる 5 後片付けができる 摂取状況の確認 6 記録できる

到達目標の示し方の特徴

- ・新人看護職員研修の到達目標に沿っている
- ・技術項目に「～できる」とつけて表現されている

A病院(606床) 到達目標のみ表記. チェックする際に別途マニュアルを併用する

B病院(438床)
到達目標をやや詳細に評価するタイプ

C病院(600床)
到達目標と施設独自の詳細な手順が組み合わせ

新人看護職員研修到達目標における 3つの枠組み

1. 看護職員として必要な基本姿勢と態度についての到達目標
2. 看護技術についての到達目標
3. 看護実践における管理的側面についての到達目標

到達目標 評価の方法

1. 評価者
他者(1~4名)
自己評価
2. 評価の記載方法は, チェックリスト式が主
 - 指標 2段階~4段階
 1. 一人ができる
 2. 助言があればできる
 3. できない
 4. 未経験
 - コメント